

令和7年度とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

園名	社会福祉法人ねりま共育ちの会 どんぐり山保育園
所在地	東京都練馬区春日町 4-1-13

1. 活動のテーマ

【テーマ】

砂の違いを知る活動／ 4歳「うみ組」

【実施時期】

2026年1月

【テーマの設定理由】

砂場遊びの幅を広げ、素材による感触や形状の変化に興味や関心を持てるよう、本テーマを設定した。また、荒木田土などの素材に触れる体験を通して、泥団子づくりの基礎となる遊びへつなげることを目的とする。

2. 活動スケジュール

AM 09:30～	カワイクリーンサット園入り 設営開始
10:00～	<ul style="list-style-type: none">・トロ舟（大型の桶）に5種類の砂を用意し、それぞれの特徴や使われている場所を紹介する・好きな砂を選び、自由に砂遊びを楽しむ・途中で水を加え、砂の感触や形状の変化を体験する・荒木田土を使った泥団子の作り方を紹介する・事前に作成した見本を用いて、艶出しの工程を紹介する・希望する園児は、後日泥団子作りに挑戦する
12:00～	終了

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・砂×5種類

4. 探究活動の実績

【活動の内容】

園庭で5種類の砂（川砂・山砂・オーストラリア産の砂など）に触れ、それぞれの特徴や

感触の違いを確かめながら活動を行った。子どもたちは砂の色や粒の大きさ、手触りの違いに気付き、興味を持って観察する姿が見られた。

その後、水を加えて砂の感触や形状の変化を体験した。乾いた砂との違いを感じながら、夢中になって泥遊びを楽しむ姿が見られた。

活動の後半はホールへ移動し、荒木田土を使った泥団子作りに挑戦した。土に水を加えて練り、ひび割れのない丸い泥団子を目指して、一人ひとりが真剣に取り組んだ。その後、乾燥や磨きの工程も行い、泥団子作りを継続して楽しんだ。

【活動の様子】



【振り返り】

活動の導入では、砂の種類や特徴についての説明よりも、実際に砂へ触れたり水を加えたりする体験を通して興味・関心が高まる様子が見られた。また、「家づくりに使われている砂」や「海外から来た砂」といった身近な話題に触れることで、子どもたちの関心がさらに深まった。

一人ひとり興味を示す場面や遊び方は異なったが、それぞれが自分なりの視点で活動に参加し、砂や土の感触や変化を楽しむ姿が見られた。

泥団子作りでは、多くの子どもが集中して取り組み、さまざまな形を試しながら楽しむ姿が見られた。乾燥や磨きの工程を通して生まれる変化を子どもたちとともに観察し、継続した活動につなげていきたい。